

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	術前のベンゾジアゼピン系薬剤の内服と術中レミマゾラムの投与量との関連
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2020年12月から2023年5月の間に経カテーテル的大動脈弁置換術を受けた患者
③概要	<p>新しい全身麻酔薬レミマゾラムは血圧に与える影響が小さいため、重症患者の麻酔に適している。一方で、同じ系統の薬剤（特定の睡眠薬や抗不安薬）を飲んでいると、レミマゾラムが効きにくい可能性がある。今回の研究では、既に経カテーテル的大動脈弁置換術を受けた患者のデータを見直し、術前のベンゾジアゼピン系薬剤の内服とレミマゾラムの投与量に關係があるかどうかを調べることを目的である。</p> <p>本研究では、既に診療録および麻酔記録装置に記録されたデータを用いる。このデータを使用してほしくないという申し出があれば、データの使用を拒否できる。なお拒否したことにより診療上の不利益は生じない。</p>
④申請番号	2023-0065
⑤研究の目的・意義	本研究により、ベンゾジアゼピン系薬剤の内服患者に対するレミマゾラムの最適な投与量が提言できる。これによって、過少投与による術中覚醒の可能性を減らすことができると期待される。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2024年12月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	診療録および麻酔記録から必要なデータを抽出し、統計解析を行ったうえで、本研究のためにのみ使用する。新潟大学内でのみ使用し、他施設には提供しない。
⑧利用または提供する情報の項目	診療記録、検査データ（いずれも個人が特定されないように管理する）
⑨利用する者の範囲	新潟大学で利用いたします。 新潟大学 麻酔科 古谷健太
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学 麻酔科 古谷健太
⑪お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：麻酔科 氏名：古谷健太 Tel：025-227-2328 E-mail：kenta-f@med.niigata-u.ac.jp

